

### ③スポーツへのアクセス向上～普及・強化～

## ボツワナ「五輪初出場を目指すソフトボール代表への支援」

2017年1月～2019年7月



国代表選手にバッティング指導をする協力隊員

### 背景/課題

ボツワナ共和国のソフトボールは、1970年代初頭に米国平和部隊(ボランティア)により草の根レベルで始まり、現在競技人口4万人超の国民的スポーツとして全土で各リーグが開催されている。JICA海外協力隊員が2017年1月～2019年7月まで、ソフトボールを統括するボツワナソフトボール連盟に派遣され、代表チームおよび学生や社会人チームへの技術指導に取り組んだ。

### 目的

- ナショナルチームの東京2020オリンピックへの出場
- ボツワナ国内でのソフトボールの一層の普及

### 活動内容

- ナショナルチームおよび小学校から社会人までの幅広い層の男女へのソフトボールの指導
- ソフトボールを通じての礼儀作法やマナーの指導、青少年の健全な心身の育成

### 成果

- 隊員赴任後、男子代表チームが過去最高位の世界トップ8入り、女子代表チームは世界選手権(2018年・日本)への出場権を獲得！2019年には東京2020オリンピック代表選考のアフリカ一次予選を一位通過した(ヨーロッパとの最終予選で敗退)。
- 代表選手たちは試合後に自主的にグラウンド整備に取り組むなど意識や姿勢も変わり、選手としての誇りを国民に示し、ボツワナに多くの夢や感動を与えている。